

合格体験記

2020年2月吉日

松田 良明

【受験の動機】

現在は、中小企業（製造業）の経営者であるが、資格取得を目指したきっかけは、中小企業診断士として、自社経営を客観的に見ることにメリットがあると考えたこと。

もともと、社会人として知識を吸収することの重要性は感じており前職（銀行員）時代には、職務に関連した証券アナリストと宅地建物取引主任者（現宅建士）を取得した。現職では、診断士取得で金融機関との融資交渉などに役に立つと思い勉強を始めた。数年のうちには取得できらうと楽観視していたこと、自社経営のかたわらであったこともあり合格まで長い歳月がかかったが、途中でやめる気はなかった。

【過年度の学習】

基本的には予備校を利用した。本業が忙しく、予備校に通うことで勉強に疎遠にならないようにする、他の受験生との交流で刺激を受けるといった目的で、またその方が確実・効率的と考えた。

H26年：大手予備校（2次の演習を受けたが感触つかめず初回の2次受験は不合格）

H27年：中堅予備校（2次試験の解答ノウハウ指導をうけるも2回目不合格）

H28年：中堅予備校（1次対策から通ったが1次試験さえも合格できず1年は空白）

H29年：1次試験は独学。2次試験については、1次試験勉強の合間に独学。この間、H26に通った大手予備校の模試を受けたが低評価、一方、H27に通った予備校の9月模試では、そのノウハウで受験し、数百人中10位以内に入ったが、本番では歯が立たず3回目不合格。

H30年：別の中堅予備校に通ってそれなりには役に立ったが4回目も不合格。

R1年：SLAには、1次試験合格後、2次直前対策に通学し合格。

【SLAを選んだ理由】

H30 不合格のあと、失意の中、ネット検索で SLA を見つけ、「平成 27 年全員合格」に惹かれて興味を持った。名前を知らない予備校だったのでメールで問い合わせし相談した。丁寧な説明もあり、1次試験に通ったら受講しようと決め、1次合格後、2次試験の直前対策（通学2か月）に参加。

【学習内容について】

学習内容は、とにかく過去問を徹底的に取り組みマスターするというもの。解説はおもしろいが正直言って、新作問題をやらなくてよいのかと（過去の指導校では新作問題に取り組んだので）不安はあった。

数回、過去問を解き、添削を受けた後、倉前講師から、今まで習ってきたことにとらわれず自然体で解いてみるようにといわれた。そして答案を提出すると採点は各設問とも 70 点前後であった。「合格する力あるからそのままでもいいですよ」と言われた。これまでの長い努力が正当に評価されたように感じて胸が熱くなった。本試験も自然体で受けたが、例年になく平易に感じた。

【合格の所感】

一次学習開始から 8 年かかってようやく 2 次試験 5 回目で合格。合格してみてほっとしたというのが所感です。合格するまでが思いのほか長くなり、その間、それなりにいろいろなことをやってきました。そんな私ですのになにより、多年度受験生となって苦勞されている方々に、私のようなものでも合格できるのだ、ということをお伝えし、励みにして頂ければと思います、この場を借りすることにしました。